

平成29年3月16日
教育委員会指導第二課

広島市立小・中・高等学校・広島特別支援学校及び広島中等教育学校における
「男女相互の理解と協力、男女共同参画社会に関する指導事例集」について

1 事例集作成上の配慮事項及び位置付け

- 本事例集は、学習指導要領における下記の学習内容を踏まえ、各学校の校長の権限において編成する教育課程の参考に資するために作成する。
- 作成に当たっては、児童生徒の発達段階を考慮し、各学校段階において、系統性を踏まえた指導等ができるよう配慮した。
- 男女相互の理解と協力や男女共同参画社会については、主として道徳及び特別活動で扱っているが、教育活動全体を通じて、育成すべき資質・能力を確実に育む観点から、社会科、家庭科等との連携を図り、横断的な学習となるよう配慮した。

(1) 学習指導要領上の位置付け (例)

校種	内 容
小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道 徳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「友達と仲良くし、助け合う。」(1・2 学年) ・ 「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」(3・4 学年) ・ 「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。」(5・6 学年) ○ 特別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「望ましい人間関係の形成」(全学年)
中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道 徳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。」(全学年) ○ 特別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「男女相互の理解と協力」(全学年) ・ 「性的な発達への適応」(全学年) ・ 「主体的な進路の選択」(全学年)
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「男女相互の理解と協力」(全学年) ・ 「心身の健康と健全な生活態度や規律ある生活習慣の確立」(全学年) ・ 「主体的な進路の選択決定と将来設計」(全学年)

(2) 第2次広島市男女共同参画基本計画(平成23年3月策定、平成28年3月変更)上の位置付け

Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

基本目標 8 男女の人権を尊重する市民意識の醸成

基本施策 4 子どもの頃からの男女共同参画を推進する教育の充実

(1) 就学前教育・学校教育における男女共同参画に関する教育の推進

ア 学校教育全体を通じた指導の充実

子どもの発達段階に応じ、幅広い科目において教材・資料の開発、活用を行なうなど、あらゆる機会を通じて男女共同参画の視点からの教育を推進します。

※ 具体的取組

- 幼稚園・学校における人権教育の推進や家庭科教育などの充実 [教育委員会]
- 男女平等教育に関する指導計画の作成 [教育委員会]

2 指導事例集の構成

- (1) 男女相互の理解と協力、男女共同参画社会に関する指導事例集」の内容構成（別紙1）
- (2) 男女相互の理解と協力、男女共同参画社会に関する指導案（別紙2）

<本日配布の指導案>

- ① 小学校「できるようになったかな 家庭の仕事」（家庭科）
- ② 中学校「夢の実現に向けた自分の生き方について考えよう」（特別活動）
- ③ 高等学校「男女交際について考えよう」（特別活動）

3 指導事例集作成までの経緯

- 4月 学校人権教育推進事業の指定校を決定し、指導事例を作成開始
<学校人権教育推進事業の指定校（H28・29年度）>
 - ・ 人権教育研究指定校（文部科学省委託） 温品小学校、戸坂中学校
 - ・ 学校人権教育研究推進中学校区 戸山小学校、戸山中学校

- 12月 学校人権教育研究推進中学校区において、作成した指導事例に基づく授業を公開（12日）
 - ・ 戸山小学校 「男の子女の子みんななかよく」（特別活動）
 - ・ 戸山中学校 「夢の実現に向けた自分の生き方について考えよう」（特別活動）

- 3月 指導事例作成完了

4 今後の予定

- 試案として校長会・教頭会等で説明後、各学校に配布する。
- 広島市小学校教育研究会、広島市中学校教育研究会の道徳部会、特別活動部会、人権教育部会等で周知する。
- 学校人権教育推進事業の指定校において、授業実践を行い、事例集の修正を行う。

「男女相互の理解と協力、男女共同参画社会に関する指導事例集」の内容構成

基本的視点	学校生活	家庭生活	社会生活（職場・地域）
<p>低学年</p> <p>小学校</p>	<p>○ 自分らしさを大切に、互いの個性を尊重する子供の育成 人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動に繋がるようにする。 （人権教育の指導方法等の在り方について「第3次とりまとめ」より）</p> <p>事例2【特別活動】「男の子女の子みんななかよく」（第3学年） 友達と違いを認め合い、望ましい人間関係を築いていくことができる。</p>	<p>○ 家族が互いに尊重し合う、心豊かでふれあいのある家庭の構築</p> <p>事例1【生活】「しぶんでできるよ」（第1学年） 家庭生活で自分に行うことができることなどについて考え、自分の役割を進んで行うことができるようになる。</p> <p>事例3【家庭】「できるよになっただけが家庭の仕事」（第5学年） 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができるようになる。 ■冊子「みんなで作ろう」「家庭の仕事」（1頁）</p>	<p>○ 雇用機会や待遇などで男女格差が解消され、男女がともに多様な個性や能力を發揮 ○ 地域での子育て支援やまちづくりなどの活動に男女がともに積極的に参加</p> <p>事例4【社会】「わたしたちのくらしと日本国憲法」（第6学年） 基本的人権は、侵すことのできない悠久の権利として保障されていることを理解する。 ■冊子「どんな仕事をやってみたいかな？」（5、6頁）</p>
<p>第1学年</p> <p>第2学年</p> <p>第3学年</p> <p>中学校</p>	<p>事例5【技術・家庭（家庭分野）】「自分と家族との生活を見つめよう」 自分の成長と家族や家庭生活とのかわりについて考えることができる。 ■冊子「家庭での役割を考えよう」（1頁）</p> <p>事例7【特別活動】「異性との関わり方について考えよう」（ア～D/V） 性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるようになる。 ■冊子「異性とのよりよい関係を築くために」（5、6頁）</p> <p>事例8【特別活動】「男女交際について考えよう」（ア～D/V） 性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるようになる。 ■冊子「全頁」</p>	<p>事例6【特別活動】「夢の実現に向けた自分の生き方について考えよう」 性別にとらわれず、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をもつことができ、自らの意思と責任で進路を選択できる。 ■冊子「自分の進路について考えよう」（2頁）</p> <p>事例9【家庭基礎】「家族の役割について考えよう」 固定的な性別役割分業意識を見直し、相互の尊重と信頼関係のもとで夫婦関係を築くことと、共に協力して家庭をつくることの意義や重要性を認識する。</p>	<p>事例10【現代社会】「男女共同参画社会の充実に向けて」 男女が共同して社会に参画し、共に責任を担う必要性について理解する。</p>

3

できるようになったかな 家庭の仕事

● 対象学年：第5学年 ● 教科等：家庭科

1 学習指導要領における位置付け

A (2) ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。

2 ねらい

- 自分の分担する仕事に取り組もうとしている。
- 自分が分担した仕事の計画について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。
- 家庭には、衣食住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることを理解している。

3 指導にあたって

家族の生活を支える家庭の仕事にはどのようなものがあるのかを考えさせ、その仕事はだれが行っているのかを見つめ直し、家族の一員として自分にできることを実践しようとする態度を育成する。

また、家庭の仕事について実践する計画を立てる際には、一日のいつどのような方法で行うのかを具体的に考えさせ、自分や家族の家庭生活を支える仕事を担うことの喜びや達成感を味わわせるようにする。そして、性別による役割分担ではなく、家族が協力して家庭の仕事を担っていくことがよりよい家庭生活につながることに気付かせる。

4 指導計画

- 第一次 できることを増やそう……………1時間
- 第二次 家族に協力して仕事をしよう……………1時間（本時）

5 準備物

- 「かがやく未来のために」広島市男女共同参画啓発冊子[小学生]1頁
- 家庭の仕事の写真や図（教科書）

6 展開例

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入	<p>1 前時に調べた自分の家庭の仕事分担について、教科書イラスト資料や「かがやく未来のために」(1頁)と比較して、気づきを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料では、男性も色々な仕事をしているが、自分の家では家庭の仕事をしているのはほとんど母や姉である。 ・ 僕の家では、母と姉が洗濯、風呂洗いが僕で、父は力仕事担当である。 <p>2 本時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性別によって、家庭の仕事分担に偏りが生じていることに気付かせる。 ○ 調べたことや資料を基に班で話し合い、気づきを発表し、家庭の仕事の分担や内容の傾向や問題点を見出させ、共有するようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、男性が裁縫や配膳をしているイラストに注目させた後、自分の家庭はどうか振り返らせる。 ○ 偏りを解消するために、家族全員で家族の仕事を協力して行うことが大切であると告げる。
	自分にできる家庭の仕事を考え、実践計画を立てよう。	

過程	学習活動	指導上の留意点
展開	<p>3 自分のできる家庭の仕事を考え、計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 僕は、食事の後片付けを仕事に選んだ。 ・ 理由は、自分でも簡単に毎日できるし母親の負担を減らせると考えたからである。 ・ 今考えている工夫は、使った皿や茶碗を大きい物から順に重ねて一気に運ぶことである。 ・ Aさんの工夫は素晴らしいので、僕の計画にも取り入れたいと思う。 ・ 私の家では、油のついた皿とついていない皿を分けて運んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の家庭の仕事を振り返り、その中から自分一人でも継続して取り組める仕事を選ぶよう指導する。 ○ ワークシートに、項目、実行日、項目を選んだ理由、仕事の方法や手順に関する自分なりの工夫を記入する。 ○ ワークシートに記入したことを基に、班で交流する。 ○ 交流後、他者の計画でよいと思ったものを挙手により指名し発表させる。
まとめ	<p>4 本時の学習を振り返り、実践に向けて意欲をもつ。</p> <p>※ 家庭の仕事に協力し貢献することの大切さを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画した内容を実践することを伝え、家族の協力の大切さを確認し、実践に意欲を持たせるようにする。

わたしの仕事おまかせカード

5年 組 名前()

1 家庭の仕事の中から自分にもできると思うものを取り上げて計画をねろう

項 目	回数と実行日					感想（やってみて大変だったこと、気づいたこと、つかんだコツなど）
	1	2	3	4	5	
例 食事のあとかたづけ (朝食・夕食)	6 / 10	6 / 11	6 / 12	6 / 13	6 / 14	油のついた皿と油のついていない茶碗は重ねない。同じ形の物を重ねると早くできる。
①	/	/	/	/	/	
②	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
【この計画のポイント】これらの項目を選んだ理由、友達から教わったコツ、自分なりの工夫など						
【家の人からのコメント・助言】						
【学習を通しての振り返り】						

【先生から】

1 学習指導要領における位置付け

- (3) ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
オ 主体的な進路の選択と将来設計

2 ねらい

- 自分のよさに気づき、伸ばそうとする意欲をもつことができる。
- 人の生き方、人生の有り様について、その多様性を理解するとともに、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をもつことができる。

3 指導にあたって

中学生になると、自我に目覚め、自己を探求し始めるとともに、その過程で、自分と社会とのかかわりや将来の生き方について関心を抱くようになる。一方、自分のよさや可能性に気付いていない生徒や、将来の職業のことを漠然と考えている生徒もいる。

本時の指導に当たっては、将来の進路についての不安や課題等を共有した上で、職業を選択する際に、大切なものは何かを考えさせ、仲間にあった職業を考える活動、仲間から自分にあった職業とその理由を教えてもらう活動を通して、性別に関係なく、自分の興味・関心、適性などにあつた職業を選択することの大切さに気付かせる。

また、今後の学校生活でどのようなことを頑張るか自己決定させることをとおして、自分のよさを伸ばそうとする意欲をもたせるようにする。

4 指導計画

- 事前の指導 帰りの会、放課後
- 本時の指導 特別活動〔学級活動〕 夢の実現に向けた自分の生き方について考えよう
(1時間：本時)
- 事後の指導 帰りの会

5 準備物

- 「輝く未来のために」広島市男女共同参画啓発冊子〔中学生〕2頁

6 展開例

① 事前の指導

活動の場	活動の内容	指導上の留意点
帰りの会	1 次回の学級活動で、夢の実現に向けた自分の生き方について考えることを予告し、アンケートを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年後に、自分の意志と責任で進路を選択しなければならないことを伝える。 ○ 集計結果を基に、進路選択について皆で考えることを伝える。
放課後	2 アンケートを集計する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女の違いが分かるように男女別に集計させる。

※ 職業人講話、職場訪問、職場体験活動等と連携し、計画的に実施するとよい。

② 本時の指導

過程	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 自分の将来について、考えることはあるが、就きたい職業について、漠然としか考えることができない状況があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が、自分の将来について考えているが、就きたい職業がはっきりしていなかったり、今、何をすればいいか考えていなかったりする。 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートのQ1, 2, 3の集計結果を提示する。 ○ 数名に気づきを発表させる。
	<p>2 男女間で、就職についての考え方や就職状況に違いがあることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性は、収入の多さを大切にし、体力が必要な仕事に多く就いている。 ・ 女性は、人の役に立つ仕事かどうかを大切にし、人の世話をする仕事に多く就いている。 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートのQ4の男女別集計結果と「輝く未来のために」2頁のグラフを比較してワークシートの1を記入させる。 ○ 今まで、この仕事は男の人の仕事、この仕事は女の人の仕事と決め付けていなかったか、自分を振り返らせる。
	<p>3 本時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を板書する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 進路を選択するとき、大切にしなければならないことは何か考えよう。 </div>		
展開	<p>4 グループの仲間同士で、一人一人に合っている職業と、その職業を選んだ理由を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1を提示し、参考にさせる。 ○ グループ内でワークシートを交換させ、2を互いに記入させる。 ○ 「選んだ理由」は、友達のよさをあげて書かせる。 ○ 記入が終わったら、ワークシートを戻し、選んだ職業と、それを選んだ理由を伝え合わせる。

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
展 開	<p>5 仲間からの意見をもとに、職業を選択するとき、何を大切にしなければいけないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なく、自分のよさを生かせるかどうかを大切に、職業を選択すればよいと思います。等 	<p>○ 性別に関係なく、自分の興味・関心、適性などにあった職業を選択することの大切さに気付かせる。</p>
	<p>6 自分のよさを伸ばすため、今後の学校生活でどのようなことを頑張るか自己決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私のよさは、人に優しく接することができることなので、今後の学校生活で、仲間や先生に積極的に挨拶したり、困っている人に声を掛けたりして行きたい。等 	<p>○ ワークシート3に、自分のよさとそれを伸ばすために頑張ることを記入させることで、今後の学校生活への意欲をもたせる。</p>
ま と め	<p>7 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○ 自己決定したことを、今後の学校生活で実践することが重要であることを伝える。</p>

③ 事後の指導

活動の場	活動の内容	指導上の留意点
帰りの会	<p>1 自己決定したことを実践できているか振り返る。</p>	<p>○ 学校生活において、自己決定したことを実践できているか自己評価させたり、相互評価させたりする。</p>

Q1 自分の将来(進路や就職)について考えることがありますか?①~③の中から、当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

- ① よくある
- ② ときどきある
- ③ ない

Q2 将来、就きたい職業がありますか?①~③の中から、当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。また、①・②と回答した人は、その職業を、③と回答した人は、その理由を書いてください。

- ① 就きたい職業がある
- ② 就きたい職業は決まっていないが、関心のある職業がある
- ③ ない

①・②と回答した人：就きたい職業・関心のある職業
③と回答した人：その回答した理由

Q3 将来のために、今、あなたが頑張っていることや、頑張ろうと考えていることがありますか? 当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。また、「① ある」と回答した人は、その内容を具体的に書いてください。

- ① ある
- ② ない

[内容]

Q4 将来の職業を選択するときに、あなたは、何を大切にしたいですか?当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。また、⑧と回答した人は、その内容を具体的に書いてください。

- ① 収入の多さ ② 休みの多さ ③ 会社の大きさ ④ 安定して長く続けられる仕事か
- ⑤ 自分のよさが生かせる仕事か ⑥ 多くの人の役に立つ仕事か
- ⑦ その職業に就いている男女の割合 ⑧ その他

[内容]

資料1 主な職業のリスト

No.	職業名等	No.	職業名等	No.	職業名等
1	パティシエ	28	グラフィックデザイナー	55	CGクリエイター
2	プロスポーツ選手	29	スポーツ用品メーカーで働く	56	弁護士
3	金融業界で働く	30	画家	57	漫画家
4	ゲームクリエイター	31	作家	58	天文台で働く
5	ゲームプログラマー	32	水族館の飼育係	59	監督・コーチ
6	編集者	33	アニメーター	60	通訳
7	ファッションデザイナー	34	歌手	61	宮大工
8	医師	35	絵本作家	62	映画監督
9	保育士	36	ブライダルコーディネーター	63	カメラマン
10	カウンセラー	37	シェフ	64	建築業界で働く
11	看護師	38	トリマー	65	消防士
12	建築家	39	薬剤師	66	芸能マネージャー
13	美容師	40	エンジニア	67	ファッションモデル
14	イラストレーター	41	広告業界で働く	68	スポーツのチームや組織で働く
15	公務員	42	アナウンサー	69	スポーツトレーナー
16	警察官	43	テレビ業界で働く	70	雑貨デザイナー
17	幼稚園教諭	44	スタイリスト	71	図書館司書
18	小学校教諭	45	税理士	72	栄養士
19	中学校教諭	46	宇宙開発技術者	73	日本料理人
20	高等学校教諭	47	犬の訓練士	74	キャラクターデザイナー
21	ツアーコンダクター	48	動物園の飼育係	75	メイクアップアーティスト
22	インテリアデザイナー	49	NASA で働く	76	出版業界で働く
23	パン職人	50	和菓子職人	77	映画宣伝
24	獣医師	51	ネイルアーティスト	78	電車の運転士
25	声優	52	フラワーデザイナー	79	プラネタリウムで働く
26	大工	53	外交官	80	占い師
27	ホテルで働く	54	アパレルメーカーで働く		

(「13歳のハローワーク公式サイト」より作成)

2年()組 名前()

- 1 アンケートのQ4の男女別集計結果と「輝く未来のために」2頁のグラフを比較して、分かることを書きましょう

- 2 グループの友達に、自分に合っていると思う職業とその職業を選んだ理由を書いてもらいましょう。

友達の名前	合っていると思う職業 (複数あげても良い)	選んだ理由

- 3 あなたは、自分のよさを伸ばすため、今後の学校生活でどんなことを頑張りますか。

私のよさは、

と思います。



これから私は、学校生活の中で、

8

男女交際について考えよう

- 対象：高等学校
- 教科等：特別活動〔ホームルーム活動〕

1 学習指導要領における位置付け

- (2) エ 男女相互の理解と協力
- ク 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立

2 ねらい

- 男女相互の理解を一層深めるとともに、人間として互いに協力し尊重し合うことができるようになる。
- 性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動をとることができるようになる。

3 指導にあたって

高校生の時期は、思春期における性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解し、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を身に付けることが重要である。

本時の指導に当たっては、異性との交際において、相手のことを強く意識するあまり、人権を侵害してしまっている可能性があるという課題を確認した上で、デートDVが起こる原因と男女交際において大切なルールやマナーを考えさせ、今後、異性と交際する際、どのようなことに気を付けていくか自己決定することを通して、男女相互の理解を一層深めるとともに、人間として互いに協力し尊重し合う態度を養うようにする。

なお、性同一性障害など、配慮が必要な生徒がいる場合は、関係教職員等と十分連携を図る。

4 指導計画

- 事前の指導 暮会、放課後
- 本時の指導 特別活動〔ホームルーム活動〕 男女交際について考えよう（1時間：本時）
- 事後の指導 暮会

5 準備物

- 「デートDVって、知っていますか？」広島市（以下「リーフレット」という。）
- 「人と人とのよりよい関係をつくるために」内閣府男女共同参画局（以下「冊子」という。）

6 展開例

① 事前の指導

活動の場	活動の内容	指導上の留意点
暮 会	1 次回の特別活動〔ホームルーム活動〕で、望ましい男女交際の在り方について考えることを予告し、アンケートを実施する。	○ 項目内容について経験がなくても、交際相手であれば許される行為であると思うものに✓をさせる。
放課後	2 アンケートを集計し、活動テーマを決定する。	○ ホームルーム委員を中心に、集計結果から活動テーマを考えさせる。 ○ アンケート結果を男女別にまとめるなど、分かりやすい提示方法について考えさせる。

※ 必要に応じて、保健体育科と連携したり、養護教諭又は専門家による講話等を実施したりする。

② 本時の指導

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入	1 異性との交際において、相手のことを強く意識するあまり、人権を侵害してしまっている可能性があることを確認する。 ・ 思った以上にチェックを入れた人が多い。 ・ 多くの人がチェックを入れた項目がある。 等	○ アンケートの集計結果を提示する。 ○ 数名に気づきを発表させる。 ○ これらの行為は、デートDVに該当する可能性があり、1つでもチェックがあれば、人権を侵害したり、されたりしているかもしれないことを伝える。
	2 本時の課題を知る。 望ましい男女交際の在り方とは、どのようなものか考えよう。	
展 開	3 デートDVとは何か理解する。 〔リーフレット〕〔冊子〕 ・ 身体的・性的暴力以外に、精神的・経済的暴力もデートDVになる。 等	○ リーフレットの「デートDVはどのようなものがあるの?」を示し、デートDVとは何かを読み取らせる。 ○ 暴力だけでなく、相手を思いどおりにコントロールしようとする態度や行動もデートDVとなることを伝える。
	4 デートDVが起こる原因を考える。 ・ 相手のことが好きなあまり、自分の思いどおりにしたい、自分だけのものにしたいという思いを相手に押し付けてしまうから。 ・ 相手に嫌われたくないため、自分の本心を伝えることが出来ていないから。 等	○ リーフレットの「なぜデートDVは起こるの?」、冊子の3・4頁のケース1～3を参考に、デートDVが起こる原因を考えさせ、ワークシートの1の左枠に記入させる。

過程	学習活動	指導上の留意点
展 開	5 男女交際において大切なルールやマナーを考え、グループで話し合う。 ・ お互いが、思いやりの心を持ち、落ち着いてよく話し合うことが大切だと思う。 ・ 自分のことを大切にし、嫌だと感じたことは勇気を出して相手に伝えることが大切だと思う。 等	○ デートDVが起こる原因を踏まえ、男女交際において、どのようなルールやマナーが大切かを考えさせ、ワークシートの1の右枠に記入させる。 ○ 考えたことをグループ内で話し合わせる。
	6 学級全体で考えを交流する。 7 今後、異性と交際する場合、どのようなことに気を付けて交際していくか自己決定する。 ・ 相手に思いやりの心を持ち、自分の言動で嫌な思いをしていないか考えるようにしたい。そして、お互いによく話し合うようにしたい。 等	○ グループや学級で話し合った内容を参考に、個人で考えさせ、ワークシートの2に記入させる。
ま と め	8 本時の活動を振り返る。	○ 以下の点を伝える ・ 自己決定したことを、日常生活で実践することが重要である。 ・ 男女が対等なパートナーとして、互いの人格を尊重することが大切である。

③ 事後の指導

活動の場	活動の内容	指導上の留意点
暮 会	1 自己決定したことを実践できているか振り返る。	○ 日常生活において、自己決定したことを実践できていたか自己評価させる。

()年()組 (男・女)
※ どちらかに○をしてください。

男女交際において、以下のチェックリストにあることについて、交際相手であれば許される行為であると思うものに✓をしましょう。

態度で

- あなたの意見を聞かずに、自分だけで勝手に物事を決める。
- 自分との予定を優先しないと無視したり、不機嫌になったりする。
- いつも一緒にいることを要求する。
- 別れようと言うと、「自殺する」と言う。
- 出かける時の行き先を告げるように言ったり、服装などを指示したりする。

電話やメール・SNS等で

- いつ誰と会う等、電話やメール・SNS等で常に行動を報告させるなど、友達づきあいを制限する。
- 携帯電話の着信履歴やメール・SNS等をチェックする。
- 携帯電話のアドレスをチェックして、異性のアドレスを消すように言ったり、勝手に消したりする。
- 携帯電話に出なかったり、メール・SNS等をすぐに返信しなかったりすると怒る。

暴力や言葉で

- 「バカ」「デブ」などと、傷つくようなことを言う。
- 思い通りにならないと、怒鳴ったり責めたり脅したりする。
- 他の異性と仲良くしたら怒る。
- 叩いたり、蹴ったり、殴るまねをしたり、大声をあげたりする。

性的関係で

- 無理やり性的な行為をする。
- 避妊に協力しない。
- ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等によって、わいせつな映像(画像や動画)を無理やり見せる。
- 人に見られたくない写真を撮り、言うことを聞かないとインターネットで公開すると言う。

金銭関係で

- いつもおごらせる。
- お金や高価なプレゼントを要求する。
- お金を借りても返さない。

(「デートDVって、知っていますか?」広島市より)

()年()組 名前()

1 デートDVが起こる原因を考えましょう。また、デートDVが起こらないようにするため、男女交際において、どのようなルールやマナーが大切かを考えましょう。

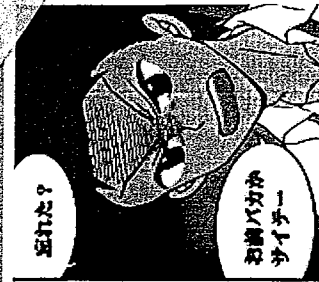
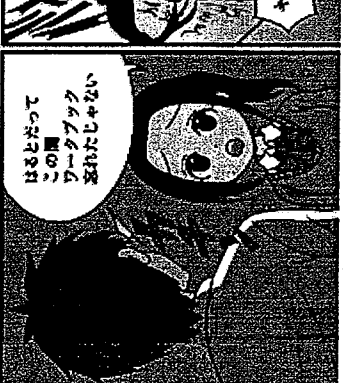
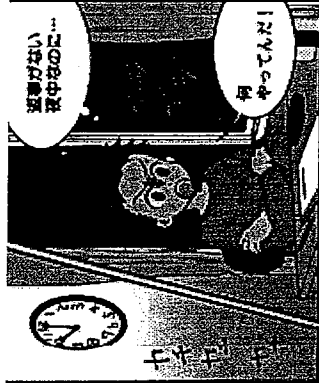
デートDVが起こる原因	男女交際において大切なルールやマナー

2 あなたは、今後、異性と交際する場合、どのようなことに気を付けて交際していこうと考えますか。

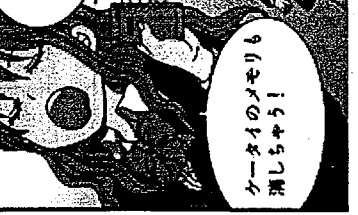
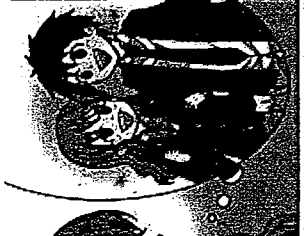
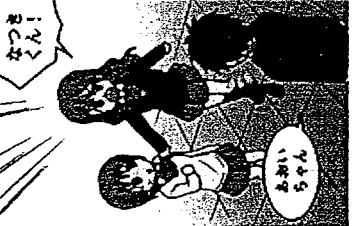
--

あなたのまわいで、
こんなことは
起こって
はいかほ?

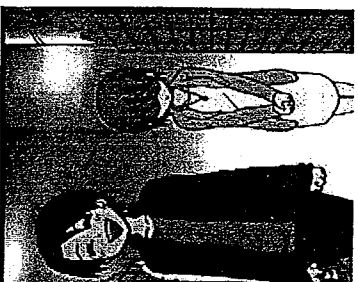
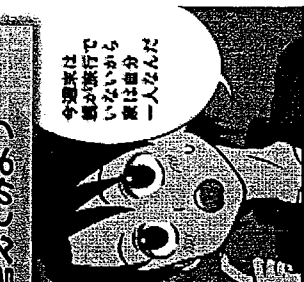
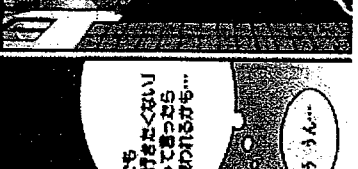
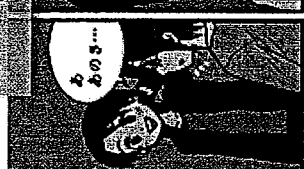
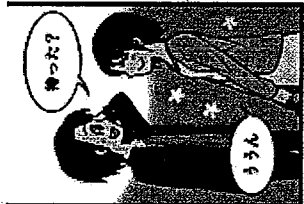
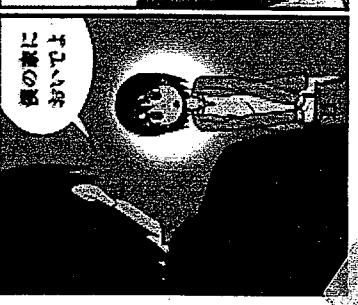
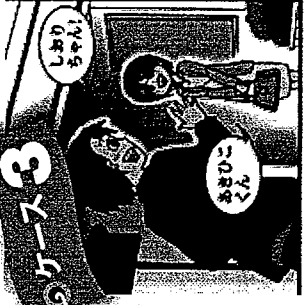
ケース1



ケース2



ケース3



これらのケースについて
考えてみよう